

これからの事業運営にはスピード感が重要です。既存施設を改築するには「調査診断」、「計画策定」、「実施設計」、「工事」といった複数のステップがあり、多くの時間とコストがかかります。我々は**3Dデジタル技術を積極的に活用し、より早く、よりわかりやすく、より正確に・・・**3Dデータの蓄積と活用によりスピーディーで高品質なサービスの提供を目指します。

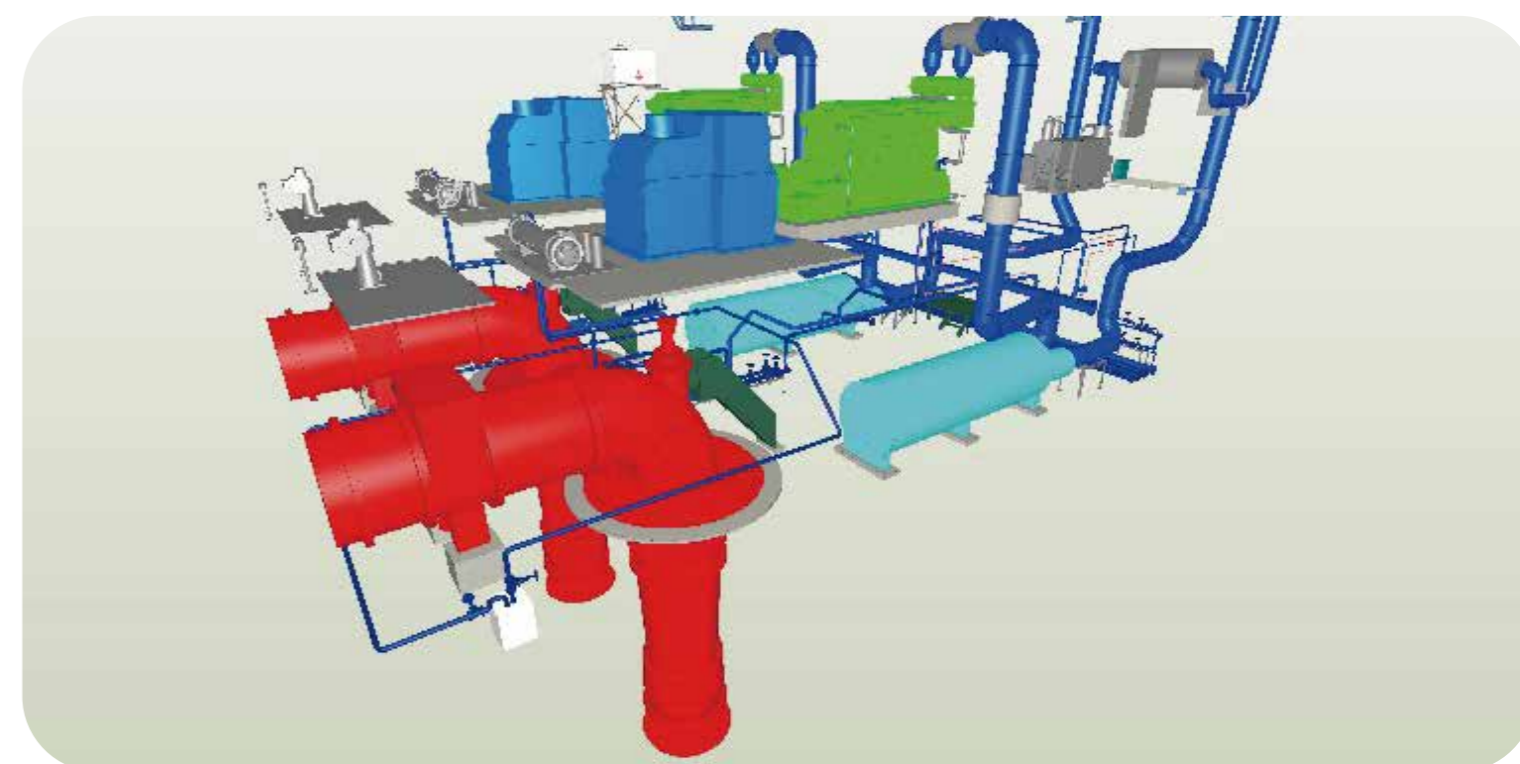
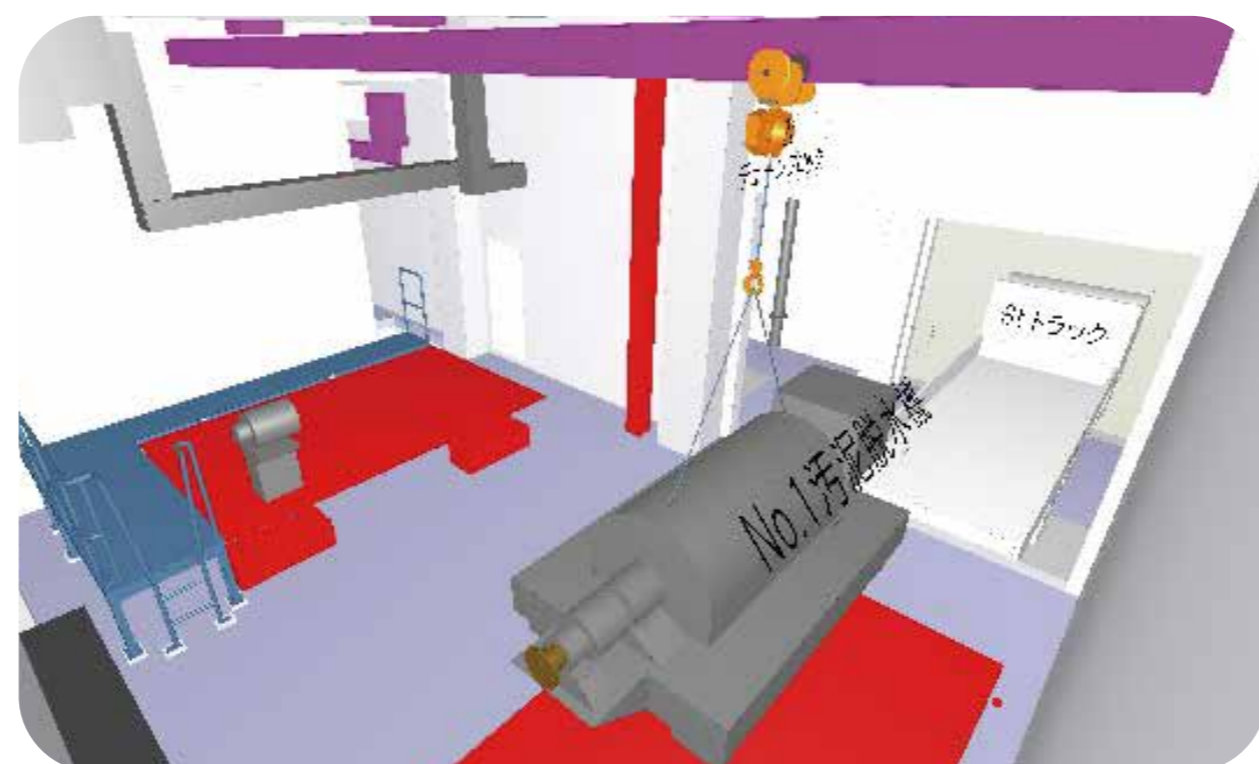
## 現地調査

3Dデジタルスキャンの導入により、従来に比べて短時間でより多くの情報をオフィスに持ち帰ることが可能となりました。これまで現地調査に投入してきた人員を大幅に削減し、情報収集のスピードアップが期待できます。



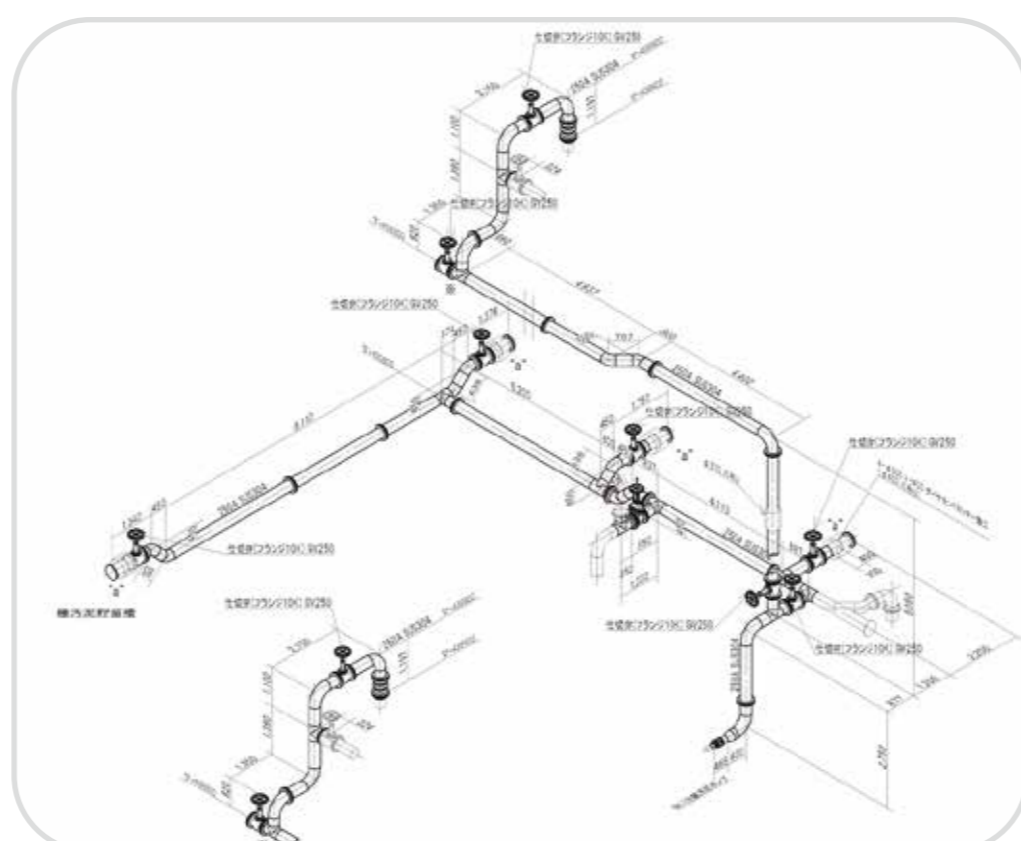
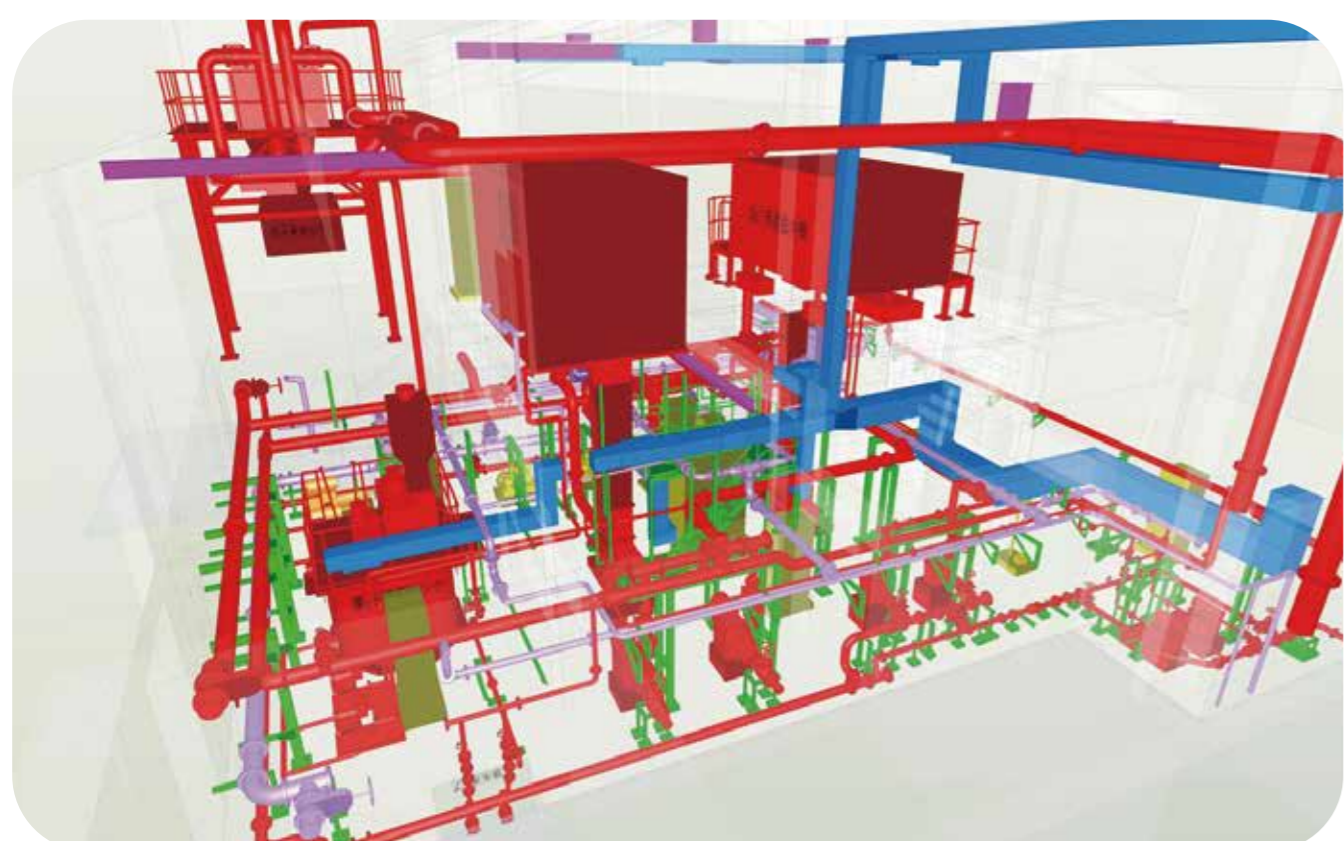
## 各種設計検討

施工手順、仮設計画、搬出入計画、配置検討など、改築工事における各種検討を3D画像または動画にて可視化し、コミュニケーションや理解度を高めることで意思決定の迅速化を図ります。



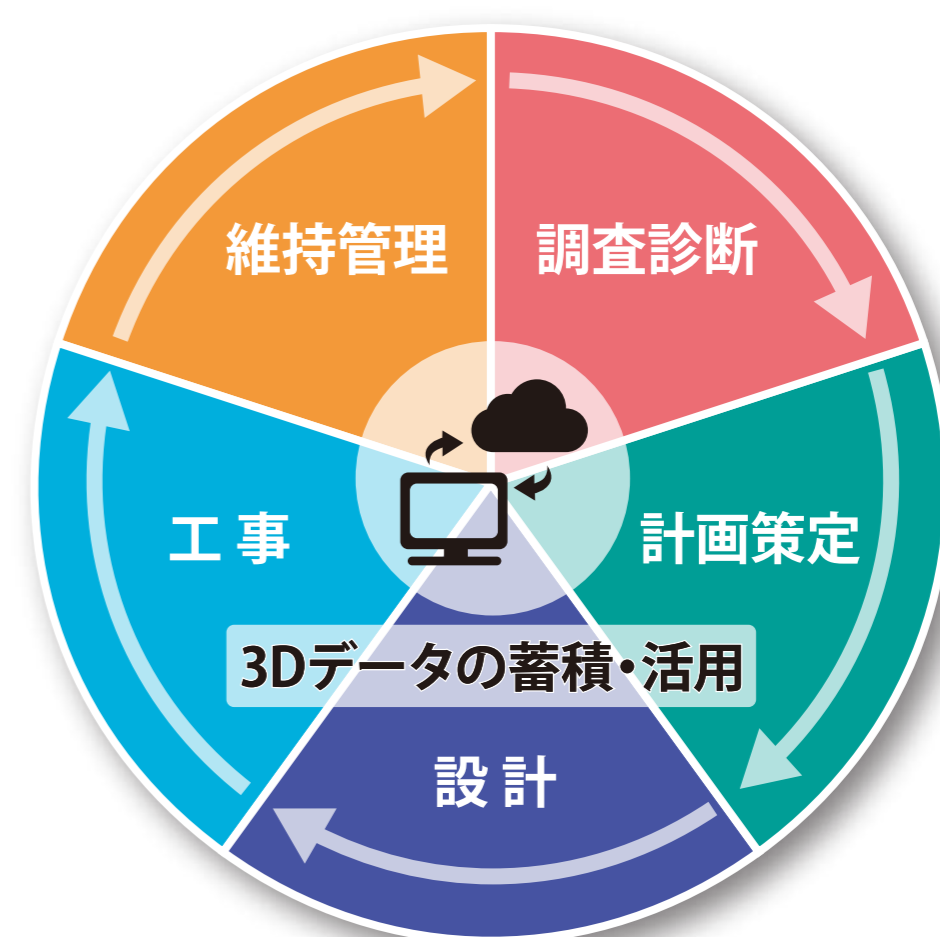
## 図面数量自動連携

3D-CADと積算ソフトの連携により図面の変更内容を数量計算書に即時反映し、チェック不要な仕組みの構築を目指します。



## データの蓄積・活用

3Dデータを蓄積しBIM化を推進、施設情報管理のプラットフォームを目指します。



生産性UPで  
サービス向上!

設計は新たなステージへ・・・

